

## 2017年 ミラノ サローネ家具国際見本市

ヴィトラは、2017 年 ミラノ サローネ国際家具見本市にて、アントニオ・チッテリオの新作「グランドソファ」、ロナン&エルワン・ブルレックによる「ソフトシェル サイド チェア」、ヘラ・ヨンゲリウスによる「イーストリバー チェア」とエドワード・バーバー&ジェイ・オズガビーの「マリポサ ソファ」の新たなバリエーション、そして、2 つのオリジナルファブリックの新作を発表しました。時代に即した新作と、従来のデザインのアップデートにより、更に自由で多彩なインテリア空間のコラージュが可能になります。

「今年のミラノ サローネ国際家具見本市でのヴィトラの展示は、どこまでも広がるシンプルな空間を 4 つに区切り、それぞれ異なるシーンを表現します。ブースを訪れた人々は、展示の中で新作の使い心地を実際に試すことができます。」ヴィトラの CEO であるノラ・フェルバウムはそう語ります。

リネン、ウール、木材や石材などの天然素材は、ヴィトラのホームコレクションにとって大切な要素であり、展示空間のアクセントとして存在感を放っています。通りすぎる人々に興味をもってもらえるように、空間を区切るアルミニウムの壁には、あえて隙間を残し、外からもブースの中がわずかに覗き込める工夫がなされています。

入口に近い 2 つのシーンでは、アントニオ・チッテリオのグランドソファ、ロナン&エルワン・ブルレックによるソフトシェルサイドチェア、エドワード・バーバー&ジェイ・オズガビーのマリポサクラブソファなどの新作に腰掛け、使い心地を試すことができます。他の 2 つのシーンでは、ヴィトラアクセサリーコレクションがディスプレイされる他、「Reed」と「Linho」という名前の新作ファブリックや Vitra Color&Material Library のアップデートされたカラーをご覧ください。

展示の空間構成とスタイリングは、Katharina Hennen、ConnieHüscher、Till Weber が担当しました。

### Vitra(ヴィトラ)について

1950 年創業のスイスの家具メーカー。世界的なデザイナーの創造性と自社の開発力によって製品とコンセプトを生み出し、そのデザインの力を通してホーム、オフィス、公共スペースの空間の質の向上に貢献。またヴィトラキャンパスにおける建築やヴィトラデザインミュージアムでの展示、ワークショップ、出版物でも知られ、多様な側面を有しています。

[www.vitra.com](http://www.vitra.com)

お問い合わせ:

Vitra 株式会社

マーケティング & PR

金子・森崎

[Naoko.Kaneko@vitra.com](mailto:Naoko.Kaneko@vitra.com)

[Kuniko.Morisaki@vitra.com](mailto:Kuniko.Morisaki@vitra.com)

TEL 03 6868 7875